

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化予定箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課  
 担当課長名：東 智徳

事業名	かんじょうだい2ごうせん（はるみ） 環状第2号線（晴海）	事業区分	街路	事業主体	東京都
起終点	自：江東区豊洲六丁目 至：中央区晴海五丁目	延長	0.6 km		

**事業概要**  
 本事業は、江東区有明二丁目を起点として、千代田区神田佐久間町に至る全長約1.4 kmである環状第2号線のうち、江東区豊洲六丁目から中央区晴海五丁目までの延長0.55 kmについて、晴海と豊洲間の水域上に橋梁として幅員32.3 mの都市計画道路を新設するものである。

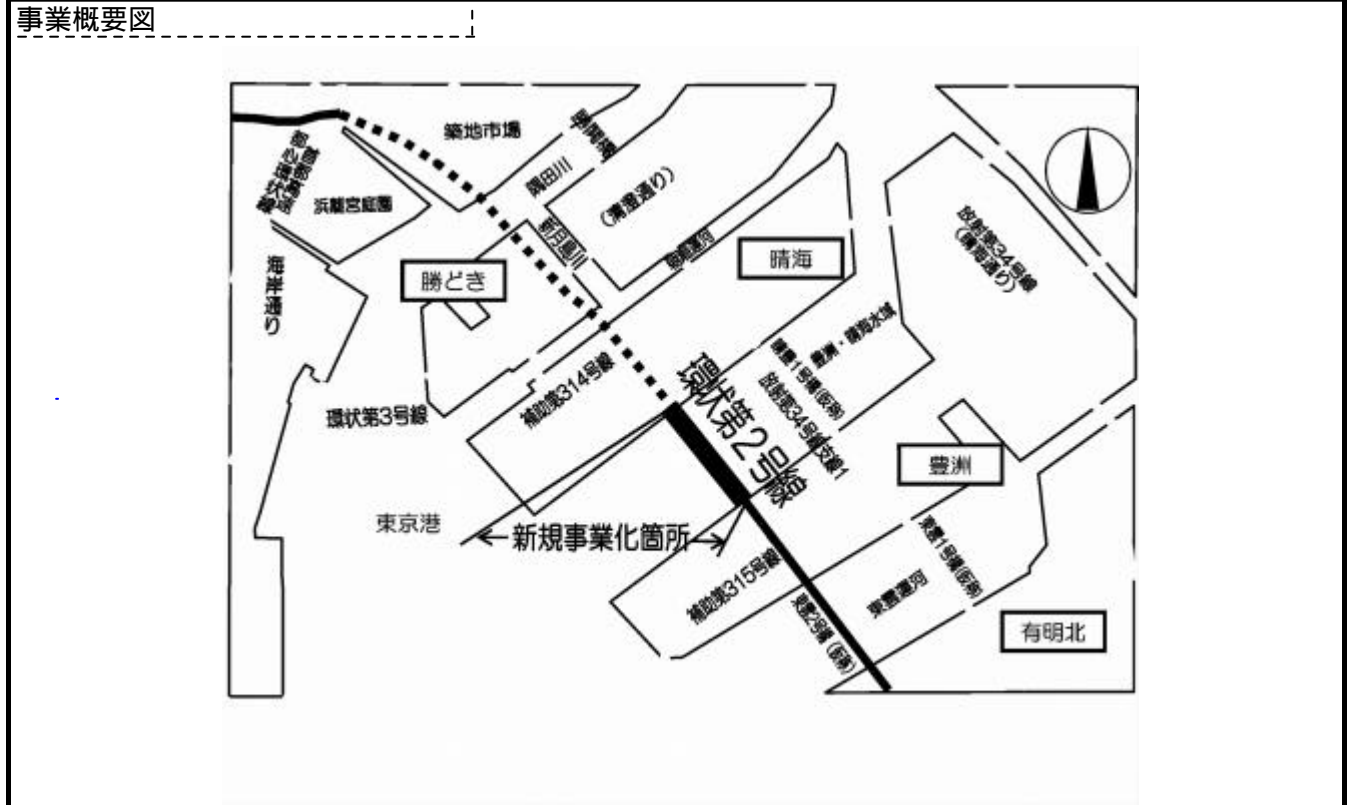
**事業の目的、必要性**  
 本路線は都心部と臨海副都心とを結ぶ主要骨格幹線である。本区間は、複合市街地の形成を目指す開発が進んでいる豊洲・晴海地区を結ぶ橋梁であり、両地区の整備促進、並びに、臨海部の交通ネットワークの充実を図るため、ゆりかもめ、晴海通り延伸部などの事業とあわせ、整備を進める必要がある。

全体事業費	147億円		計画交通量	50,000台/日
費用便益分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年
	2.7	135億円 （事業費：129.7億円 維持管理費：4.9億円）	368億円 （走行時間短縮便益：348.6億円 走行費用減少便益：17.8億円 交通事故減少便益：1.8億円）	平成15年

**事業の効果等**

- ・都心と臨海部を結ぶ幹線道路整備による、周辺道路の渋滞解消
- ・緊急整備地域内の幹線道路整備による、周辺地域開発の整備促進
- ・豊洲、晴海間の橋梁整備に伴う、緊急避難路の確保

**関係する地方公共団体等の意見**  
 本区間は、豊洲と晴海とを結ぶ橋梁であり、周辺開発の促進や臨海部の交通ネットワーク形成の観点から、早期整備が求められている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。